



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 共和レザー株式会社

コード番号 3553 URL <http://www.kyowale.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 花井 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 恵造 TEL 053-425-2121

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,951	△8.8	773	△12.9	746	△21.7	551	△12.5
2019年3月期第2四半期	22,978	△0.6	887	△40.6	953	△40.2	629	△36.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 464百万円 (△6.7) 2019年3月期第2四半期 498百万円 (△55.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	22.50	—
2019年3月期第2四半期	25.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	48,882	32,480	64.5	1,287.52
2019年3月期	50,710	32,439	62.0	1,283.51

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 31,542百万円 2019年3月期 31,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2020年3月期	—	16.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	0.7	2,800	43.6	2,900	41.9	2,000	33.5	81.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	24,500,000株	2019年3月期	24,500,000株
2020年3月期2Q	1,737株	2019年3月期	1,737株
2020年3月期2Q	24,498,263株	2019年3月期2Q	24,498,263株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易問題の長期化の影響等が企業業績に始まっており、製造業では景気の停滞感が強まっている状況です。

このような状況のもと、当企業グループの連結売上高は209億5千1百万円と前年同期(229億7千8百万円)に比べ8.8%の減少となりました。

売上高を用途別にみますと、車両用につきましては、主として中国向け売上の不振により177億4千1百万円と前年同期(192億9千6百万円)に比べ8.1%の減少となり、住宅・住設用につきましては、主として壁装事業撤退の影響により15億1千5百万円と前年同期(18億4千1百万円)に比べ17.7%の減少となり、ファッション・生活資材用につきましては、16億9千5百万円と前年同期(18億4千1百万円)に比べ7.9%の減少となりました。

利益面につきましては、中国向け売上の不振による売上高の減少などにより連結経常利益は7億4千6百万円と前年同期連結経常利益(9億5千3百万円)に比べ21.7%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億5千1百万円と前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益(6億2千9百万円)に比べ12.5%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%減少し、488億8千2百万円となりました。

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ2.8%減少し、262億9千1百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4.5%減少し、225億9千1百万円となりました。これは主として投資有価証券が減少したことによります。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べ13.1%減少し、139億6千5百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ11.2%増加し、24億3千6百万円となりました。これは主としてIFRS第16号「リース」の会計基準を期首から適用したことにより、その他に区分されているリース債務が増加したことによります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ0.1%増加し、324億8千万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,338	8,916
受取手形及び売掛金	10,056	7,913
電子記録債権	3,329	2,868
有価証券	1,407	2,807
商品及び製品	2,040	2,018
仕掛品	656	632
原材料及び貯蔵品	856	840
その他	448	401
貸倒引当金	△84	△108
流動資産合計	27,047	26,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,395	3,313
機械装置及び運搬具(純額)	5,281	5,140
土地	3,778	3,778
建設仮勘定	1,117	1,555
その他(純額)	541	536
有形固定資産合計	14,115	14,323
無形固定資産		
のれん	140	111
ソフトウェア	86	136
その他	45	319
無形固定資産合計	272	567
投資その他の資産		
投資有価証券	7,245	5,598
長期貸付金	38	39
繰延税金資産	896	892
退職給付に係る資産	158	217
その他	963	980
貸倒引当金	△28	△27
投資その他の資産合計	9,274	7,699
固定資産合計	23,662	22,591
資産合計	50,710	48,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,911	6,704
電子記録債務	2,780	2,637
短期借入金	775	690
未払金	1,654	1,292
未払法人税等	276	254
役員賞与引当金	74	36
資産除去債務	6	12
その他	1,600	2,336
流動負債合計	16,079	13,965
固定負債		
役員退職慰労引当金	150	175
退職給付に係る負債	2,012	1,917
資産除去債務	29	24
その他	—	320
固定負債合計	2,191	2,436
負債合計	18,271	16,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810	1,810
資本剰余金	1,654	1,654
利益剰余金	27,056	27,197
自己株式	△0	△0
株主資本合計	30,520	30,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	260
為替換算調整勘定	326	263
退職給付に係る調整累計額	379	356
その他の包括利益累計額合計	923	880
非支配株主持分	995	938
純資産合計	32,439	32,480
負債純資産合計	50,710	48,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,978	20,951
売上原価	18,931	17,029
売上総利益	4,046	3,922
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,034	1,066
役員賞与引当金繰入額	40	37
役員退職慰労引当金繰入額	18	59
その他	2,066	1,984
販売費及び一般管理費合計	3,159	3,148
営業利益	887	773
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	18	17
持分法による投資利益	43	69
投資有価証券売却益	29	1
デリバティブ評価益	6	25
その他	46	44
営業外収益合計	157	170
営業外費用		
為替差損	23	127
売上割引	18	16
固定資産除却損	17	6
その他	31	46
営業外費用合計	91	196
経常利益	953	746
税金等調整前四半期純利益	953	746
法人税等	333	212
四半期純利益	620	534
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	629	551

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	620	534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	43
為替換算調整勘定	△109	△73
退職給付に係る調整額	△27	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△17
その他の包括利益合計	△122	△70
四半期包括利益	498	464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548	508
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	△44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において391百万円の剰余金の配当を行っております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当企業グループの在外子会社は、当第2四半期連結累計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについては、当第2四半期連結累計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

本基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間における連結貸借対照表は、無形固定資産の「その他」が304百万円、流動負債の「その他」が72百万円、固定負債の「その他」が263百万円それぞれ増加しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。